

あんぜんだより

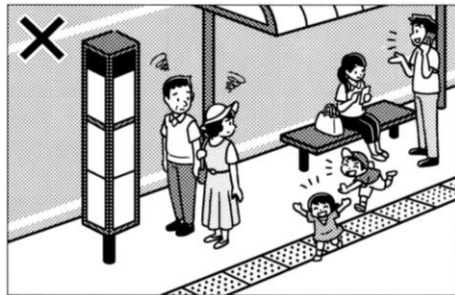
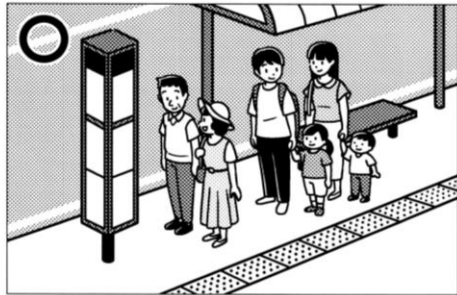
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石見子先生



みんなが安全で気持ちよく利用できる バスの乗り方を身につけましょう

バスや鉄道など、さまざまな人が乗り合わせる公共交通機関では、ルールやマナーを守って利用しないと、自身が危険だけではなく、周囲にも迷惑をかけてしまうことを、子どもたちに伝えるとともに、保護者の皆さんが、良い手本となる姿を見せていきましょう。

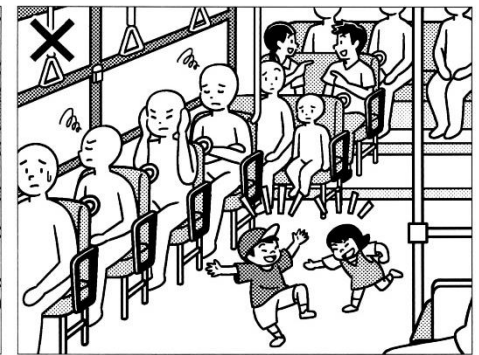
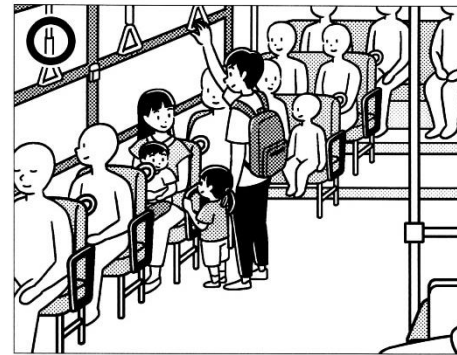
バスにのる ときの やくそく



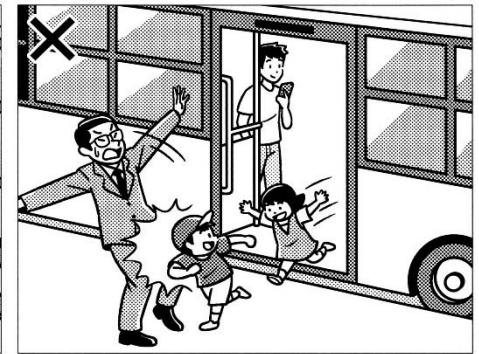
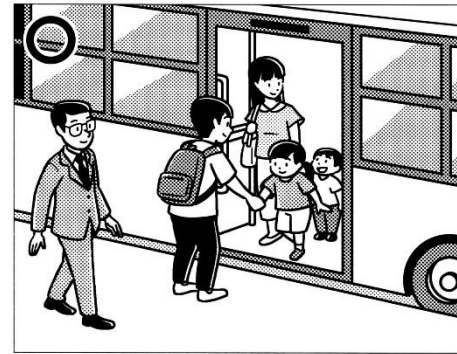
バスをまつときは しずかに れつに ならぶ。



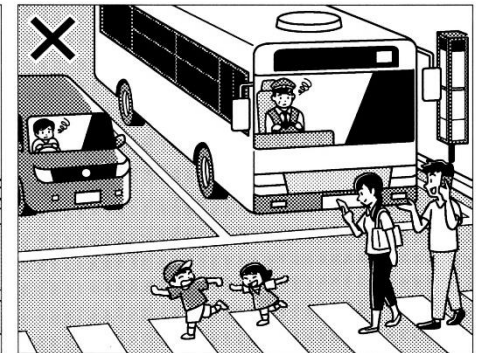
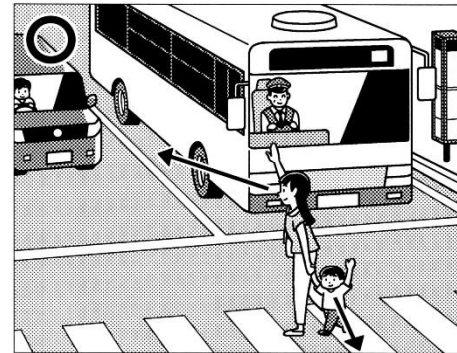
あしもとに きを つけながら じゅんばんに のりこむ。



あいた せきに すわるか てすりを しっかり つかんで たつ。



あしもとと みぎ ひだりに きを つけて ゆっくり おりる。



バスのそばを あるく ときは まわりに ちゅうい する。

保護者の方へ バス停で待つ時には、保護者が車道側に立って順番を守り、静かに列に並びましょう。乗車する際にも、順番通りに前の人に続き、足元の段差に気をつけて進みます。乗車したら、空いている席に座るか、手すり等をしっかりつかんで立ちます。幼児連れは優先席の対象に含まれますが、ほかにも優先席を必要としている乗客がいたら、互いに譲り合って座るようにしてください。降車する際は、飛び出さず、左右と足元の安全を確かめてからにします。バスの付近を歩く時には、死角となる車体の影にも気を配るようにしてください。